

実習指導者と看護教員の相互研修Ⅰ プログラム

日 時	方 法	内 容	講師
9月27日(木) 9:30~9:40 9:40~12:30	講 義	オリエンテーション 臨床実習における教材化 1. 看護学実習における教材とは 2. 学生が臨床実習の場で体験する事柄 (学生が看護を学ぶための素材となる経験) 3. 臨床実習で何が学ばれているか 4. 教材づくりの具体的方法 5. 教材化のために指導者に求められる力 6. 教材化のために学生に求められる力	山口県立大学 看護栄養学部 学部長 丹 佳子 ファシリテーター
		昼 食	
13:30~16:30	演習Ⅰ	テーマ：学生に学んでほしい看護を考える。 1. 学生が看護を学ぶとは、学生に看護過程を教える意味を見出す。 2. 自ら獲得してきた臨床の知を「教える」という立場で見直し、「臨床実習で学んでほしいこと」を明らかにする。 3. 「学生が看護を学ぶための素材」を過去の体験やエピソードから抽出する。	山口県立大学 看護栄養学部 学部長 丹 佳子 ファシリテーター
9月28日(金) 9:30~15:50 休憩、昼食はグループ 毎に適宜とる	演習Ⅱ	テーマ：臨床実習における教材づくり 1. 1~2個の臨床で起こったエピソード、体験を学習素材として選定する。 2. 取り上げたエピソードから「何を学んでほしいのか」教材内容を列挙する。 3. 講義内容を参考に学びの場をどのように創出するのか構造図を作成する。 4. 講義内容を参考に指導者としての関わり方を考える。 (発問方法、カンファレンスの進め方)	山口県立大学 看護栄養学部 学部長 丹 佳子 ファシリテーター
15:50~16:20	発表	全体共有 グループワークの成果を発表する	

実習指導者と看護教員の相互研修Ⅱ プログラム

日 時	方 法	内 容	講師
11月21日(水) 9:30~9:40 9:40~11:20	話題提供	オリエンテーション テーマ:効果的な実習指導のための連携、協働について考える 1. 話題提供 1) 看護教員からの話題提供 「臨床の場で教員として行っている連携、協働」 2) 実習指導者からの話題提供 「実習指導者として行っている私の工夫」 —教員、病棟管理者、病棟スタッフとの連携—	県立萩 看護学校 教務主任 久光寿代 都志見病院 看護師長 小田美佳子
11:20~12:20		昼 食	
12:20~13:20	演習Ⅰ	テーマ:実習指導におけるそれぞれの役割について考える 1. 教員の役割 2. 実習現場の管理者の役割 3. 実習指導者の役割 4. スタッフの役割 5. 学生の役割	シート1
13:30~15:50	演習Ⅱ	テーマ:効果的な実習指導のための連携、協働について考える 1. 連携、協働することの効果について共有する 2. どのような場面で、だれと連携、協働することが必要であるか検討する 3. 自己の課題を行動レベルで明確にする	シート2
15:50~16:20	発表	全体共有 グループワークの成果を発表する	